

共通テストを受験するみなさんへ

これまでの頑張りが花開くことをお祈りします！！

進路指導部より

～平常心、いつも通りを心がけるべし！～

- ① 前日の金曜日は、やっぱり落ち着かないもの。普通に食事し、普通に入浴し、普通に勉強し、普通に寝ること！
- ② 前日に新しい問題、参考書を見るのは…やめましょう。今までやったものをもう一回見返す余裕が本番につながります！

～忘れ物、ギリギリの移動や行動はもってのほか！～

- ③ マスク(2枚)、お弁当、鉛筆(先が丸いものと尖ったもの)、消しゴム(複数)、受験票【写真貼付】は確実に！
- ④ 慣れない入試会場への道や、ラッシュ時の電車は何がおきるか分からない！事前のシミュレーション(出来れば本番に移動する時間帯と同じ時間に移動して、シミュレーションしておこう)
- ⑤ 試験が開始したら、まずはマークシートの必要事項(No、氏名など)の記入を！次に問題数、ページ数の確認を忘れずに。得点は最後の問題までたどり着けるかどうかで決まる。わからない問題に時間をかけすぎない余裕を持とう！当日の時間配分をなど考えておくのも大切なポイント。
- ⑥ 試験終了5分前には、マークシートチェック(No、氏名など)と記入ズレの確認、(自己採点のための)問題用紙への解答チェックの3つを忘れずに！

～持ち物、着る物も工夫するとちょっと有利に！？～

- ⑦ 換気をしています。教室の座席によって寒いこともあり。反対に、あまり着込みすぎるとかえって頭がボーっとするので要注意！脱ぎ着できるもので工夫しましょう。タートルネック、あったかい肌着は室内では暑すぎることも。
- ⑧ 会場みんなが出来ているわけではありません。出来たように見えるだけ！休み時間は会話を控える。大事なのは次の教科！休み時間も戦略的に過ごそう。
- ⑨ 鉛筆を両サイド削って、片側を丸く、反対側を尖らせるとマークシート用、計算用に使い分けられる！
- ⑩ 当日、もしもの場合には問い合わせ大学へ電話で問い合わせを。

～自己採点をするまで緊張感を維持しよう！～

- ◎ 共通テスト本番は「自己採点」の結果で集計されます。最後まで冷静に正確に自己採点をしよう。

最後の最後まで頑張りが実を結びます。応援しています！

新型コロナウイルス感染症予防対策について

進路指導部

これについてはすでに配布した「受験上の注意」のP3～6に記載されています。もう読んでいると思いますが、大切なことなので、ここで皆さんに繰り返し、説明します。

1. 試験前

①感染しないような行動を心がける。(特に年末・年始)

- ・手洗いを頻繁に行う。できないときには消毒。
- ・「三つの密」を避ける。＝人混みの多いところ(密集)に出かけない。
他人との距離(密接)をとる。
閉鎖(密閉)空間に長時間とどまらない。



②自己免疫力を高め、体調管理に注意する。

- ・バランスのとれた食事、適度な運動、休養、適度な睡眠

③できればインフルエンザの予防接種を。

④2週間位前から「健康観察記録」(冊子P23)を作り、自分の体調の変化に関心を向ける。

- ・体温、咳、喉の痛み、味・匂いに対する感覚・倦怠(けんたい)感・息苦しさなど



2. 試験当日

0. 朝の体調確認(冊子P4チェックリスト)

- ①持ち物 マスク(予備にもう1枚)、
- ②服装 換気のため、窓を開放しているそうです。席が窓の近くになったら寒いので防寒具をそうでなければ暑くなるかもしれないので、調整できるものを。
- ③入退室のときは係員の指示に従う。入室のときには手指消毒を。
- ④休憩時間、昼食は会話を控える。自席にとどまる。
- ⑤昼食は持参する。試験場の食堂は営業していません。自席で取ること。



3. もしものときは

問い合わせ先と方法は受験票に記載されている「問い合わせ大学」に電話連絡。

- ①新型コロナウイルス等の感染症に罹患した人
- ②保健所から濃厚接触者として外出自粛を要請されている人
→条件を満たせば受験が認められます。要確認
- ③試験日の2週間前程度から発熱・咳などの症状が出た場合
→直ちに医療機関を受診。適切な処置をしてもらい、受験に支障がないか判断してもらうこと。
- ④当日、冊子P4「健康状態チェックリスト」
A(37.5℃以上の発熱、息苦しさ、強いだるさ)
B(味を感じない、臭いを感じない、咳の症状、喉の痛み、下痢[条件あり]、同居人の感染疑い)
にいくつか当てはまる症状があったとき、
発熱・咳などの症状が出たとき
体調が万全でないとき
→無理して受験することを考えず、必要な手続きを経た上で、追試験の受験をする。

